

対象エリア：A市C町

食事・物資

困りごと①	町内の公園で炊き出しはあるが、不定期なので定期的にやってもらえるとありがたい。ただし、外国人がまとまって住んでいるマンションもあり、イスラム教であるインドネシア人が多く、配慮が必要。
困りごと②	車中泊の方は避難所に行くことも気が引けるという方が多く、必要物資も十分に届いていない状況がある。
困りごと③	近くのスーパーは津波で流され、生活用品などは遠くまで買い物に行かないと揃わない。
困りごと④	床上浸水した家などは、2階で生活しており炊事する環境が整っていない。アレルギーのある子どもたちもおり、通常の食事が食べられないという声も出ている。避難所で食事を配布していることも十分周知されていない。

取り組みを考える	連携を考える		
具体的にできること、できそうな取り組み（アイデアを含める）	誰と？（事前課題シートを参考にしながら具体的に）	何を？どんな風に？（連携先とどんなことで協力しあうのか）	新たにつながった方が良いと気づいたところ
(例) 炊き出し	<ul style="list-style-type: none"> ・生協 ・社協（災害ボランティア本部） ・国際交流協会 	<ul style="list-style-type: none"> →食材の提供 →炊き出し人員の確保 →外国人向けレシピの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援団体とつながれば、炊き出しと一緒に子どもたちの遊び場づくりも実施することができる。

対象エリア：A市C町
情報

困りごと①	去年引っ越したばかりで知り合いもいないため、車中泊を続けているという30代独身女性に出会った。必要なものを言うのも恥じらいがあり、避難所に行けないという。このようなケースの若い独身者が他にもいる可能性がある。
困りごと②	自治会長などが避難所にかかりきりで地域の取り組みが遅れている。さらに、マンションの状況把握に向かったがオートロックのため入ることができなかった。
困りごと③	避難所での食事の配布や町内での炊き出しのことを知らなかったという被災者も多数いるようだ。
困りごと④	SNSなどで情報は伝わっているようだが、古い情報やデマなども見受けられる。

取り組みを考える	連携を考える		
具体的にできること、できそうな取り組み（アイデアを含める）	誰と？（事前課題シートを参考にしながら具体的に）	何を？どんな風に？（連携先とどんなことで協力しあうのか）	新たにつながった方が良いと気づいたところ
(例) 公園内に掲示板を作成し、情報を貼り出す	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生 ・自治会 ・炊き出しを行う支援団体 ・国際交流協会 	掲示板に掲示するチラシを作成してもらう 自治会の情報をまとめてもらう 炊き出しに来た方に掲示板を案内してもらう チラシなどを外国語に翻訳してもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を検討している団体などのスケジュール等を聞いておくと良い。 ・情報発信が得意な大学生などにつながるとアイデアが増える

対象エリア：B町大字D

心身の健康

困りごと①	子どもたちの遊び場である校庭や公園が閉鎖されており、子どものストレスも溜まっている。勉強をする場所も学校が避難所のため、限られている。
困りごと②	沿岸地域から避難している世帯もあるが、情報もあまり届かず心細いという声が出ている。
困りごと③	小学生がいる家庭を訪れたら父親が大きな声で怒鳴っていた。仕事がなくなりずっと家にいるそう。こうした家庭もいくつかあるという話も出ている。
困りごと④	趣味の畑が被災し、やる事がなくて家に閉じこもりがちになっている高齢者が多数いるとの情報が入っている。

取り組みを考える	連携を考える		
具体的にできること、できそうな取り組み（アイデアを含める）	誰と？（事前課題シートを参考にしながら具体的に）	何を？どんな風に？（連携先とどんなことで協力しあうのか）	新たにつながった方が良いと気づいたところ
（例） 子どもの遊び場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生 ・地域の子育てサークル ・図書館 	<ul style="list-style-type: none"> →子どもの遊び相手として →子どもの親向けプログラムを実施 →絵本や子ども向けの本の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士など精神面の専門家とつながれば、子どもたちの心のケアも行うことができる。 ・おやじの会とつながれば、昔遊びなどをしてもらうことができる。